

つなぐ

宮城県涌谷高等学校

令和4年2月7日発行

熊谷瞳さん(2年/宮城県防災指導員) 全国防災JL育成合宿に参加！

ジュニアリーダー



1/12(木)~15(日)

@兵庫県立舞子高等学校

@国立淡路青少年自然の家

@人と防災未来センター

1月12日(木)から15日(日)(3泊4日)に兵庫県で行われた「令和4年度中学生・高校生防災会議『全国防災ジュニアリーダー育成合宿』(主催:独立行政法人国立青少年教育振興機構)に、2年熊谷瞳さん(宮城県防災指導員)が参加しました。地震や火山噴火、水害など様々な災害が頻発している日本において、これからの防災や減災の担い手である全国各地の中学生・高校生を対象に、今後の防災や減災について考える機会を設け、人材の育成、防災意識と社会参画意識のさらなる向上を目指すことを目的に開催されました。北は岩手県、南は大分県まで、全国から24校99名(生徒62名・教員24名・大学教授等13名)が参加し、意見交換をしながら防災意識を高めました。

<活動内容>

熊谷さんの振り返り

震災メモリアル行事 Day 2

1995年1月17日に発災した阪神淡路大震災のメモリアル行事が舞子高校で行われました。

分科会(実践事例発表)



15分間の発表を2回行いました。涌高で行っている、町の防災訓練への参加や防災ワークショップなどの取組について発表しました。舞子高校の方など約20名が聴いてくださり、「自分たちだけではなく地域の人たちのことも考えて避難したい」、「安全に避難し生き残るためには地域の人たちとの協力が大切」といった声をいただきました。

また、声量や立ち位置などの1回目の反省を2回目の発表では改善できました。

講演「忘れない 未災者の私たち ~語り継ぐこと、記憶すること~」(雁部那由多氏)



昨年度に涌高でも講演をしていただいた雁部さんの講演を聴きました。

「『語り』は、『語り』から受け手の『行動』が生み出されたときに意味を持つ」、「『語り』の先には『行動』がある。『行動』の先には『未来』がある」ということを学びました。学んだことを家族や友達に伝えることで、この講演を聴いた意味になると思います。

この他に、避難所運営ワークショップ(齋藤幸男氏・雁部那由多氏)や振り返りを行いました。

活動発表「壁新聞作成」 Day 3



岩手・宮城・東京の人たちで、東北以外の人にも東北の魅力を伝えることを目的に壁新聞を作りました。涌谷町の桜や、ボランティアで参加している「青い鯉のぼりプロジェクト」について紹介することができました。

アクションプラン作成・発表 Day 3



今回学んだことをもとに、「地域の人々との交流」をテーマに自分たちができるアクションを考えました。地域の人たちと一緒に防災について学習し避難訓練で実践することなどが犠牲者ゼロにつながると考えました。

(1日目の交流会, 3日目の講演(諏訪清二氏)とパネルディスカッション, 4日目の「人と防災未来センター」見学は紙面の都合上割愛させていただきました。)



北は岩手県, 南は大分県まで, 全国から24校99名(生徒62名・教員24名・大学教授等13名)が参加しました

<まとめ(熊谷さんの振り返り)>

1月に兵庫県で行われた3泊4日の全国防災ジュニアリーダー育成合宿に参加しました。初めは1人で不安でしたが, 全国から集まった人たちと一緒に防災活動の意識を高め合うことができました。

合宿に参加し防災についての意識が変わりました。これまでは生徒主体と言われても何をどうすればよいか分かりませんでした, 他校の生徒主体の活動を知り, やってみたい活動が増えました。例えば, 1日防災について考える「防災デー」です。涌高生だけでなく, 小中学生や地域の人たちと楽しみながら防災を考えることでお互いが顔見知りとなり, いざというときに役に立つと思います。また, 「防災×〇〇」のように防災を他のことにつなげることで, 防災を学びやすくなると思いました。

この4日間で, 一言では表せないくらい多くのことを学びました。学んだことをみんなに共有して一緒に活動し, 涌高生の防災意識が高まったらいいなと思いました。また, 全国の人たちと交流し, つながりを持つことができました。互いの学校で取り組んでいることについて意見交換をしながら防災意識を高めて今後役に立てていきたいです。

涌谷高校 HP 防災のページ

<https://onl.sc/akD3RVJ>



涌谷高校 HP

学校防災だより「つなぐ」バックナンバー

<https://wakuya-h.myswan.ed.jp/letter>



防災担当：津守